

## 県内市町村の固定資産（土地）に係る 令和6年度提示平均価額についてお知らせします。

令和6年度は固定資産の評価替えに当たり、土地の評価額が見直されます。

沖縄県では、固定資産評価基準に基づき、指定市町村以外の市町村間の評価の均衡を図るため、宅地、田、畑及び山林の令和6年度の提示平均価額について、沖縄県固定資産評価審議会（高平光一会長）に諮問しました。

同審議会（令和6年3月7日開催）での審議の結果、諮問のあった提示平均価額について適正であると認められ異議ない旨の答申がなされましたのでお知らせします。

※ 総務大臣が指定した市町村の提示平均価額は、総務大臣が調整を行います。

（沖縄県の指定市町村 宅地：那覇市、田：名護市、畑：中城村、山林：国頭村）

※ 提示平均価額とは、固定資産（土地）の評価の水準を示すもので、田・畑・山林については千㎡当たり、宅地については㎡当たりの平均価額

$$\text{提示平均価額} = \text{総評価見込額} \div \text{総見込地積}$$

1 市町村別の提示平均価額 別紙のとおりです。

### 2 令和6年度提示平均価額の概要

(1) 前回（令和3年度）実績額との変動率で見ると、県全体の平均価額で、宅地は7.3%上昇となりました。一方、田、畑及び山林はほぼ変動がありません。

(2) 宅地（円/㎡）で一番高いのは、那覇市の133,927円です。一方、一番低いのは、北大東村の707円です。

(3) 宅地のうち、前回（令和3年度）実績額と比べ価額が上昇しているのは、30市町村となっております。

※ 別紙の変動率は（提示）平均価額の数値であり、固定資産税額の変動率ではないのでご留意ください。

※ 地方税法に規定された負担調整措置により、評価額の急激な上昇が見られても税額は緩やかな上昇となります。

地目	最も価額の高い市町村		最も価額の低い市町村	
	市町村名	提示平均価額	市町村名	提示平均価額
宅地	那覇市	133,927円/㎡	北大東村	707円/㎡
田	名護市	69,486円/千㎡	久米島町	21,785円/千㎡
畑	南風原町	71,000円/千㎡	北大東村	18,525円/千㎡
山林	石垣市	13,994円/千㎡	久米島町	4,978円/千㎡